0 旅

0

I チ

5

ツ

1 を

守

IJ

ま

L

t

う·····

車

や

公

園

を

ਣੇ

九 L

1

平野中(新任校)(

森江 (旧任校)(氏

小牧野武夫 内

名

おかげ さ ま で·······表 彰



同同同同同理事

安佐野大藤藤村勝 太長久隆藤郎重造一繁

六、同本会予算について 五、昭和三十八年度本会事業 吗 즉

本会役員 会副会 計会長 長

会を終了した。 確立することを申し台せ、 実と十二月末まで完納体制を

22

(0) 点出

尽力して退職したので県事務税組合長として多年にわたり ◎感謝状 所長と町長から感謝状 武田文治 国税並に県税納

ない、 ついに全戸完納という輝かしたが、三十七年度において、 県伊達事務所長外多数来賓臨 金字塔をうち立てた。そこ 四月八日福島税務署長、

席のもと、盛大な表彰式を行 治氏らの功労者に対しては感 の育成活動に尽力した武田文 なお多年にわたり組合 組合および町内四十九の部戸、大枝の各地区総合納税 き金一封を添え表彰 落納税組合は全戸完納につ

く全戸完納の実績をつづけた こよなき記念事業として、永 もなく迎える合併十周年への 町民の協力が半一である。ま 収入確保には、なんとしても ある自主財源としての町税の 町の自治行政運営の根幹で

士

月

末まで完納体制

確立など申し合せ

粟野小 掛田中

大木戸 森江野

高橋

根本秋雄 博

県 藤田 中 小

鈴木キチ 山川郁夫 永瀬源吉

半梁大月梁桑大 田川鳥館川折枝 小中中中中中小

熊森池 天氏後藤 田田野隆和 修治夫子 保忠

森 同同藤大江 田枝野小小小

大枝 佐久間裕 群田小 田辺一郎

根本敬子

県北中

◎転入

白根小

同

阿部

中山巴之助

健治

日まで四日間、福島民報主

二月二十六日より三月一

に農業の体質改善もあわせ

、各農協の合併なくしては

農林省指定農業機械化実験

都市に労働力をうばわれ、

十八万坪の五割は菊一

地として、

三十五馬力前後

の大型機械をそろえ、こと

終り、

三割は二作、三作利

不可能であると思われる。 つている。こうした事業も

催の「動く農事教室」に参

加し、

国見町納税貯蓄組合連合会

議決定した。 況報告を受け、 より三十七年度町税の収納状 会を開き、まず八巻税務課長 表彰式に引続き、本会通常総 (会長佐藤新七氏)では完納 昭和三十七年度本会追加 左記事項を協 同監同同同

同本会収入支出決算認定 先生方の の 子属 異 動

蓬吉岩 田田城 闻 五郎

地を見聞してきたので、そ 馬力に増設、農地を水害か

農業構造改善の先進 排水設備を十八台二三〇〇

金及び近代化資金を導入、 進めた。まず県や国の助成

田海 竜

野も東海道も夢の中で過ぎ 鳥海」で福島駅発、関東平 の要点だけを記録する。二

れたこの地も、今は人手不 る里日本デンマークといわ

松農協視察。 昔は乳の流れ

のトップをきつている。

◎五○坪で六○万円の 一十八日湿美半島のガラ

燥機三基を備え、省力農業 人の割にあればよい。

他共同の畑地灌漑の完備、人の割にあればよい。その

にコンバインによる刈取り 用は二割に過ぎないとのこ と同時脱穀、更に金岡式乾 とである。尙労力は一棟一

二十七日愛知県安城市赤 □パーマーケット ◎水田の共同管理とス

◎嶽鶏即補給の体制確立 足により乳牛和牛各一○頭

十五日十五時十六分急行

る増収を図り、農道の整備 ら守りあわせて乾田化によ

機械の共同使用等により

更正予算について

"農業構造改善をみる

計画の設定につい

本会役員改選について 同本会事業報告について

(役員名別項のとおり)

その他として組合の内容が

く

◎近代化資金で体質改善 地養老農協をたずねる。 スに分乗して、十一の視察

飼育所を見学する。工費一

つづいて上多度養鶏共同

農家二〇〇羽以上を飼育。 を割るとのこと。養鶏は各

現在十八万坪の温室を有す

ス張り温室を見学。ここは

果を挙げている。 栽培技術の指導、

の結び

話等農協が中心となつて成

出荷の世

間二〇万羽を六ヶ月まで育

団栽培、水かけ落水の管理高めるため、水稲の品種集

行八〇名、二台のバ

目的地岐阜県大垣駅に着 二十六日朝六時三十八分

ートル内外の湿田地帯の見め、どの家のゲージにも空 ヘクタール(町)、海抜○メ 制をとつている。それがた 牧田川に沿り面積三〇〇 制というこ、 後島即補給の体 ようらこ、 一般作業の家に対し、綾島即補給の体 者をきめるなど、農作業の家に対し、

える堤防に案内され、排水 箱がなく、産卵率も低下し 設備を見学する。この地は ないしくみ、実にまなぶと 収穫皆無の災害を受けた 工費五百万円で脱毛機大冷 核非町東町地区を見学する 棟六〇万円の収益を挙げて、収穫皆無の災害を受けた 工費五百万円で脱毛機大冷 核非町東町地区を見学する 棟六〇万円の収益を挙げて、 四〇日も水びたしとなり 羽内外の簸鶏が出るので、 かつての伊勢湾台風の折 ころが大きい。又一日五百

採用している。 次に赤松農協より程近い ◎大型機械と省力農業

もスーパーマケット方式を 挙げている。又農協購買部

立ちあがり、復旧工事と共 も併設、組合員の利得を図 冲積土の水田地帯三十七年 れば、この地方も近代工業 (森江野農友会長ところなので、関係農家が 蔵庫等を備えた食事処理場 。ここは耕地聡理をされた いるとのこと。氏の話によ 煙であると思われる。 年間菊二作メロン一作で一の集団化整農の協同施設等 現在三棟一五〇坪を持ち、

機械の共同利用、果樹園芸 構造改善の前途は多事多 (森江野農友会長)

をはじめ関係者を喜ばせてき 完納部落があらわれ、町当局年ごとに向上し、毎年多数の わが国見町の納税成績は、 完納の新記 高原長四郎 太田川納税組 鈴木正 大枝地区総合納税 組合長として尽力し退職 したので町長より感謝状 謝と表彰 録樹

【第67号】 昭和38年4月15日発行

発行所 国具町公民館 佐 藤 善次郎 発行人 編集人 鈴 木 美 宇佐美印刷所 印刷所

三月十六日から十九日まで四日間、町職会定例会が

はる多数の案件が審議可決された。今回は、四、三十八年度の国見町歳入歳出予算ほか三十五

議

会

傍

聴

◎葬祭費給付は倍増

4入山財産区特別会計

(5)藤田財産区特別会計

議員

六〇、〇〇〇円

(3)都市計画土地造成特別会計

小学校プール建設費三ヶ分

国 000,000 回

(四二,000円)

いものである。 赤井畑町長談

の

ちがい、責任は一切編集部にあることをおことわりします。(尙この記事は、これまでの「議会だより」と

編入された。

◎三十八年度特別会計

復旧継続事業費一、六二六万のペースアップのほか、災害

あるが、尙交通安全都市につ 前号でお知らせしたとおりで公明選挙都市宣言については ●「公明選挙都市」の二大宣言

あがる町民の熱意にむくえる

あるので、町では、このもえ つての協力があずかつて力が の不断の努力と町民一体とな

る。しかしこの中には、職員 当初予算にくらべ四四、八一

予算きまる

三、八四二メートルは町道に 新国道の開通により、旧国道

Q

一三〇円の増となつてい

けないが、二三記して、いつぶく休みの話題を提供し にご審議くださつたみなさまに対し、まことに申しわ こつちのききかじり、議会のぞ記の程度で、ねつしん 忙のため、終始拝見することができず、ほんのあつち か見ごたえのある会議であつたようだ。年度末事務多 などから毎日三十余名の傍聴者があり、四年間の任期 月選挙を目の前にして政治的関心がたかまつた婦人層 件にのぼる多数の案件が審議可決された。今回は、

ます)【写真は役場前に掲示した大看板】

期満

が終わる議員さんたちの活躍もはなばなしく、なかな

った。 から七割給付されることにな 割であつたのが来る十月一日 なり、医療費給付が世帯主五 四月一日から二、〇〇〇円に 〇〇〇円だつた葬祭費給付が 部が改正され、これまで 国見町国民健康保険条例の

、一七〇、五六七円で、昨年の三十八年度の町予算は一〇〇

をおくことになる。 木係と厚生課にあつた水道係 五課とする。建設課には、 れまで総務課に属していた土

(6)育英事業特別会計

◎三十八年度一般会計町予

算一億円を超す

◎旧国道は町道になる

「みなさんの住民自治の理解 のたまものでありまして、 税貯蓄組合の充実した活動 ができました。これは各納 輝かしい事績を挙げること 町税全町内全戸完納という つて見ない昭和三十七年度 合併以前といえども未だか 欲により、当町発足以来否 と町勢発展への燃え上る意 国見町選挙管理委員の任 ◎選挙管理委員かわる

◎表形状

たので町長より感謝状 合長として尽力し退職し

小坂、

藤田、

森江野、

大木

る次かであります ◎議員の報酬が改め られた 早田 盛

会によつて選ばれた。 了により、新しく次の方が議 心から敬意と感謝を印上げ 引地芳男 佐藤政三 横山政市 五 保金湯十 原透野沢 中小小小 年十月一日から実施される。)が次のように改められ、昨国見町議会議員の報酬(年額 () 内は前の報酬 同同同同藤田

副議長七二、〇〇〇円 競長 八四、〇〇〇円 (四八,000円 (五七、六〇〇円)

(2)上水道特別会計 ①国民健康保険特別会計 二五、九六三、一七四円 九、七五九、四一九円

にいろいろな特別会計があり町の財政には一般会計のほか きまつた。 、こんどの議会でその予算が

万円消防ポンプ一八〇万円、 円、公営住宅二〇戸分六九一

公明是举金言 回見明 り予算のうらづけが必要だとこれを実践にうつすにはやは であるが、有効過切な方法でたことはまことに結構なこと の不動の決意を天下に声明し をした。町民の代表としてそ いても別項のような宣言決議

菅原タカ おもわれるがその点はどうか

同同県北中 大木戸 中大山野枝舟生 小梁同月 坂川 館 小 中 大橋雄一 宍戸昭五 阿部フミ 樋口清光

松浦寅三 帯につき一

末において九五パーセントの納付率が当該年度の年度部落会の区域内の全納税者 七〇円、完納した場合一世をこえた場合一世帯につき 特別助成金 〇〇円と改正

町税と同じく納期内完納組なつていたのが普通徴収の納付については百分の二とあ根土地改良区費納期内 交付することに改正 合に対し百分の三の割合で

行規則の一部を改正し、三十ため、町の納税貯蓄組合法施 とおりである。 八年度から適用することにな つた。その改正の要点は次の 完納助成金

を挙げているのは、組合幹部 戸完納というすばらしい実績 わが国見町の納税成績が全

ح

これまでの総務・経済・厚生 課設置条例の一部改正をし、 り期待できないようだ。 九〇万円などを含んでいるの 税務の四課に建設課を加え その他の新規事業はあま ◎ 退大大 上職枝戸 森江野 則 変わる

納税奨勵 斎藤千代 0

飯樋

小野寺 典子

信夫村公民館など視察

婦人幹部の

研

修旅行

だれかが、

ょ ò

県警察本部)風塵の色

使われてよいのです。材や教具は、もつとも らでも手近にあります。テ は前にのべたとおり、 のがた グループの学習では、 の 卷 もつともつと はきまつたよ した。そして わかにふえま の利用者がに とたんに、そ 本紙に書いた キストとスラ イドのことを 度使つた人

しよう。

きます。せつ栄養欠陥を招 われます。食とつづけて使 かく集まつて どは、 を主人や子どもに手つだつ のです。もしその切りぬき バーが手分けして切りぬく になります。読者の投書に それらの新聞の切り抜きな 婦人間が充実しています。 このごろの新聞は家庭欄や 新聞をとつていましよう。 たいていの家ではなにかの は新聞です。このごろは、 もいいものがあります。 これらはを問題別にメン 婦人学級のよい教材

新

になります。はじめはめん 級に間接に参加させること ことになり、男性を婦人学 が家庭学習にまでひろがる てもらえば、グループ学習 習にはなりません。 の道具に使われたのでは学 それらに使われているとい つているのではなく、逆に新聞やラジオ、テレビを使 教材というのは、じぶんた からもないのです。教具、 ともしないし、批判するち にして、これを批判しよう えます。 ちが使う道具のことで、そ 新聞の記事やラジ

人団体のリーダーを養成する国見町教育委員会では、婦 テレビの放送をうのみ

とか、ただおしやべりしても何をするのかわからない

か中されます。

ほんとうに

いるだけではつまらないと

を受け、総工費五四〇万で建て文部省から一〇〇万の補助 の公民舘は三十七年度におい 成つた公民館を見学した。こ バスに乗り、藤田車庫前を出 た幹部五〇名は大型の貸切り 各単位婦人会から推せんされ つた。三月十八日午前九時、 環として、研修旅行を行な 先ず信夫村を訪れ、新装 、中にま古っているのが見られ これを学習に誘い入れたもの、中には姑や夫に呼びかけて のもたくさんある。 をあらわして喜ばれているも ど実践活動の面にも学習の効 会の民主化をすすめたものな 効果を挙げたもの、 管理、生活改善から産業経済 子どものしつけや家族の健康 別果を挙げたもの、家庭や社 青少年の育成補導に大きな 政治外交社会のうごきなど

あけぼの むつみ

藤山崎南 館泉古館会 泉泉太小 田田川 中上川坂 プタルー むつみ 浅野下 若葉会 石母田 大町南 会東 三六二二一一二九七〇五五八四 四三五 数会員) 七 0 ル 七九七 高橋 アサ 吉田とみい 横山 キサ 佐藤イクヨ 佐久間よね 高橋よしい 中村カッイ 高橋 マキ 佐藤 京子 武田ヨシノ 浅野イッノ 佐藤 みい (委員) アキ 節子 貞子

"

そのうちリーダー講習もやる は大いに利用してください。 ト二張到着しました。この夏 六~七人用ゥインパー型テン のはテントです。こんどみな するとき、いつも問題になる し、夏までにはもう二張(三 さん多年の要望にこたえて、 野外活動としてキヤンプを

~四人用)購入する計画です。 青年農業講座終る に修学旅 行 方

思います。私は一ヶ月半の 船の中でいろいろな外国人 山というものがなく、国土 りません。デンマークには 限速度などというものがあ はすばらしい眺めだろうと 地帯で、春から夏にかけて のすべてがなだらかな丘陵 業青年講座は、三月末をもつ三者一体となつて開催した農 受調者は予想とおりきわめて 関芸試験場などを見学した。 郡山の農業試験場及び平野の 両日は、失吹町の伝習農場、 て一応終了し、二十九、三十の 一段階として、町、教育の中堅農民を養成するか時代の進歩に即応でき

るはず、

安心して投票し

ましよう。

少かつたが、粒えりの青年た ちで、今後の活動が期待され ・ 各人の自由意思で投票す ●義理人情をすて、買収供 挙の沖四課です。○○推 ること……これが公明選 が政治の大道でしよう。 のしあわせを考えること 私利私欲をすて、みんな が公明選挙の

十三課です 応を追放すること…これ せんなどのことばのため

に、とかく個人の自由を 束ばくされないよう、

はりつぱに展開していきまそこからほぐれ、話しあい てみましよう。話の糸口は そのとおりです。そこで、 そこでおすすめしたいの 何かを持つてき 雑誌 ないことです。 ことは、 習慣も身につきます。 もしろくなり、新聞をよむ もよいでしよう。見たり聞 よに見たり聞いたりするの どうですが、 いたりしたあとで話しあう んだんたまつてくると、 わたくしたちの多くは、 にやられつばなしになら ラジオやテレビをいつし ラジオ、テレビなど マスコミ(新聞や つてくると、おりぬきがだ つづけてやろう 計画を立てて

め年間をとおして学習を続け 、その後理解ある家人たちやがつた若妻たちのグループはなどをモットーにして立ちあ たものが多かつた。 から計画を立て、農繁期も含 もあるが、大部分は年度初め 末又は一月頃から始めたもの た。これらのグループには年 ブが、それぞれ熱心に学習し 次のようにたくさんのグルー 婦人団体幹部の応援もあつて 昭和三十七年度においては すこぶる順調な伸びを見せ 内容も

葉

一七

二四

デンマ ーク農家に入る

デンマークでも北の方のべ

その間取りといい、ひろびろ ないが、多くの小べやを持つ 設したもの、

まだ設備はでき

3 3 5 3 3 3 3

信電話局を視察し、五時帰着 引返す。午後は、農協会館、 円通寺住職吉岡棟一師を招き りつばなものである。近くの とした敷地といい、なかなか りて、じつさいは観光や慰「近ごろ研修や視察に名をか 参加者の一幹部はその感想 約一時間にわたつて欧米視 中央郵便局、電 時半福島に 入つたことが報ぜられてい 三月九日待望の配属農家に を見て四日デンマーク入り ユに上陸、芸術の都パリー プトの古都を見学し、三月 汁一報が届いた。途中エジ 目的地デンマークに着いた した八島君から、いよいよ 日欧州の南玄関マルセー 月二十九日横浜を出発

くりしました。

民報新聞社、

察談をきき、

を次のように語つた。

安のバス旅行が行われてい

る。

るとき、こんどの計画は、

示すものとして、たいへん教養団体の正しい在り方を めになる活動をしたいと思ほんとうに会員みんなのた 参考になりました。わたし 。途中、スエズを通るとき 事デンマークに着きました たくしも一ヶ月半という長 いられることでしよう。 見町も相変らず発展されて いたしました。その後、国 旅行を終り、三月四日無 途中、スエズを通るとき たいへん永い間ご無沙汰 のものがありました。

数千年前に 三月四日デンマークの首

わたくしの入つたのは、

の事業活動に反省を加え、 どもの婦人会もここらでそ

カイロを見学、

講習を受け、三月九日いよ 四日間、大使館で語学やデ いよ配属農家に入りました ンマーク国状などについて

都コペンハーゲンに着き、

の中心だけあつて想像以上 - に向い、二日と三日はパ セーユに上陸して一路パリ 文字を中心にした古代美術 ットやスァインクス、象形 砂漠の広大な眺めとピラミ 栄えたエジプト文化の遺跡 リー見学、芸術の都、欧州 を、一日車で見ましたが、 工芸品のすばらしさにびつ 八島君より第三便― 三月一日フランスのマル 〇キロで走り、一二〇キロ アルトで舗装され、 どんな田舎でも道はアスァ 農場に遊びに行きました。 曜なので車で同じ実習生の した。 ですが、ここ二三日暖かく 月か一ヶ月遅れているよう 候はまだ寒く、日本より半 事だけで非常に楽です。 の二人ですることになりま 仕事をせず、私とお母さん 大学に行くとかでほとんど の耕地を持ち、乳牛三〇頭 位平気で出しています。 っています。息子はこんど 九才になる息子と三人でや です。それを老人夫妻と十 ステという町で、二〇町歩 した。今の仕事は畜舎の仕 ンドレース種)という経営 早春のきざしがして来ま 繁殖用豚二〇頭(全部ラ 昨日(二十四日)日 、普通八

三月二十五日 デンマーク国ペステ町 八島博

E

ないようです。では無事到の差がほとんどみとめられ 着のお知らせのみ申上げ

またこの次に致します。

●先生方、社会教育の方も

ましよう。

議会傍聴も通年制でやり 番効果のある方法です。 動を見守ること…これが 気をもちましよう。

●ひとのふり見てわがふり

よろしくお願いします。

よう聞きましよう。

大いに見まし

定し、社会保障が完備して

○議員さん方の日ごろの行

公明選挙の为五課で、

いるため都市と農村で生活

うことです。又、生活が安 かも素朴な国民はないとい クに入つて感じたことは、 つて来ましたが、デンマー

デンマーク人ほど親切でし

と親しくなり、お世話にな

期 符 される若妻学 級

農繁期もつづけてやろう……

みんなで力を合せてやろう 身近な問題ととつくんで、「グループは以前なら三月でい 自分たちのことは自分たち|になつて改めて発足するとい

てやることになつているのでではそのまま新年度につづけ ちおう終止符をうち、農閑期 学習効果はますますあがるも のと期待される。

公民

【写真】は代競員たち

森 際 江 野

三六二二三〇

九四七

小坂 である。

新入生全校生学級数

(国見分)二二 大木戸

二九六

二七

一八〇七 二八六

た。どうぞご利用下さい。 森江野中央 小坂中央 山にねがいをこめて(群馬 結婚の条件(源氏鶏太)この 徳川家康(山岡荘八) こんど次の本が到着しまし 藤田生花 大技婦人 ○徳川家康(山岡壮 八著)などたくさん 舘だより わたしの吉川英治、 三十三六 五. 下林マサミー 八 渡部 サミー 五石黒 愛子 青野キエ子 川茂雄)随筆日本再発見(と生活社)歴史の山脈(安きかせるママのお話(主婦 者(朝日新聞社)子どもに 武者小路実篤集、続地方記)雁の死(水上勉)柳生石の灯を消さないで(城戸礼 舟斎(吉川英治)15年戦争 てやろう(小田実)風よこ の謎(加瀬後一)何でも見 **物**園日記(林寿郎)現代史 城を陥すな(藤田青雄) (わだつみ会) 大宅壮一集

村泰助)聖徳太子(竹内大物誌(島崎敏樹)宦官(田 30年(竹田道太郎)心の風 高橋義孝)しろばんば(井 ◎テント(キンヤプ く(細川沙多子)美術記者 上端)女六人ヒマラヤを行 用)もきました

編集後記

●誰に入れます、誰に入れ ○候補者にお金をつかわせ 弱点につけこむことはひ つはぜつたい守られてい わないことが公明選挙の ました…… きようです。 をもつかみたい候補者の ないこと……これが公明 二課です。投票のひみ など決してい

夫) 猿飛佐助 (柴田錬三郎 本勝)日本の名著(桑原武 憂愁平野(井上靖)鶴ヶ 仮坂 動 を開き、執行部から三十七年 月三十一日午前十時から総会 国見町連合青年団では、三 長は松浦功 君

三十八年度の役員選挙を行な 度の事業並に決算報告をし、 つた。新役員は次のとおり

一農事の研究を進めることにな つている。 今後グループ活動をつづけ、る。尚これらの青年たちは、 二一七名で、戦後最高といわ 【写真】は失吹伝習農場での 戦後最低の入学児

町内の小学校新入生は合計

どくなるもようで、昭和四十ある。この傾向は今後更にひ

れた九年前のちようど半分で

三年度の入学予定は一六八名